2027年３月期　第２四半期（中間期）決算短信〔日本基準〕(連結)

2026年11月13日

上 場 会 社 名	ホシデン株式会社	上場取引所	東
コ ー ド 番 号	6804	URL	https://www.hosiden.com/index.html
代　　表　　者	（役職名） 代表取締役社長	（氏名）	古橋　健士
問合せ先責任者	（役職名） 社長室長	（氏名）	谷　忠道　　TEL　072-993-1010
半期報告書提出予定日	2026年11月13日	配当支払開始予定日	2026年12月４日

決算補足説明資料作成の有無　　：有
決算説明会開催の有無　　：有　（機関投資家・証券アナリスト向け）

（百万円未満切捨て）

１．2027年３月期第２四半期（中間期）の連結業績（2026年４月１日～2026年９月30日）

（１）連結経営成績(累計)

（%表示は、対前年中間期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する中間純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2027年３月期中間期	269,716	9.9	9,226	13.9	9,683	1.0	6,590	7.9
2026年３月期中間期	245,426	111.3	8,098	1.6	9,588	51.2	6,108	38.0

（注）包括利益　2027年３月期中間期　11,081百万円（ 143.8%）　2026年３月期中間期　4,545百万円（△24.7%）

	１株当たり中間純利益	潜在株式調整後１株当たり中間純利益
	円 銭	円 銭
2027年３月期中間期	133.86	124.25
2026年３月期中間期	120.03	111.83

（２）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2027年３月期中間期	232,557	157,745	67.8
2026年３月期	215,281	150,243	69.8

（参考）自己資本　2027年３月期中間期 157,745百万円　　2026年３月期 150,243百万円

２．配当の状況

	年間配当金				
	第１四半期末	第２四半期末	第３四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2026年３月期	―	25.00	―	73.00	98.00
2027年３月期	―	39.00			
2027年３月期(予想)			―	38.00	77.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無　：　無

３．2027年３月期の連結業績予想（2026年４月１日～2027年３月31日）

（%表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		１株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	436,000	△2.7	18,000	△6.4	18,000	△27.0	12,500	△22.9	253.88

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無　：　無

業績予想における為替レートにつきましては、1米ドル155円を前提としております。

※　注記事項

（１）当中間期における連結範囲の重要な変更　　：　有

新規　　ー社（社名）　　、除外　　１社（社名）豪熙電電子(上海)(有)

（２）中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用　　：　無

（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

①　会計基準等の改正に伴う会計方針の変更　　：　無

②　①以外の会計方針の変更　　：　無

③　会計上の見積りの変更　　：　無

④　修正再表示　　：　無

（４）発行済株式数（普通株式）

①　期末発行済株式数（自己株式を含む）	2027年３月期中間期	58,502,584株	2026年３月期	58,502,584株
②　期末自己株式数	2027年３月期中間期	9,264,623株	2026年３月期	9,269,912株
③　期中平均株式数（中間期）	2027年３月期中間期	49,235,228株	2026年３月期中間期	50,891,574株

※　第２四半期（中間期）決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です

※　業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている将来の業績に関する見通しは、現在入手可能な情報による当社の判断に基づく将来の予測であり、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。さまざまな潜在的リスクや不確定要素を含んでおり、実際の業績はさまざまな重要な要素により、記載された見通しと大きく異なる可能性もあり、これらの見通しに過度に依存されないようにお願いいたします。

（決算補足説明資料の入手方法）

決算補足説明資料については、当社ウェブサイトに掲載する予定です。

○添付資料の目次

１．経営成績等の概況 …… 2
（１）当中間期の経営成績の概況 …… 2
（２）当中間期の財政状態の概況 …… 2
（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 …… 3
２．中間連結財務諸表及び主な注記 …… 4
（１）中間連結貸借対照表 …… 4
（２）中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書 …… 6
（中間連結損益計算書） …… 6
（中間連結包括利益計算書） …… 7
（３）中間連結キャッシュ・フロー計算書 …… 8
（４）中間連結財務諸表に関する注記事項 …… 9
（継続企業の前提に関する注記） …… 9
（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記） …… 9
（セグメント情報等の注記） …… 9
（重要な後発事象） …… 10

１．経営成績等の概況

（１）当中間期の経営成績の概況

当中間連結会計期間（2026年４月～2026年９月）の世界経済は、各国の通商政策を巡る不確実性の高まりや原油価格の変動などの影響を大きく受けました。米国では、AI関連分野を中心としたデータセンター向け設備投資及び半導体関連投資が引き続き堅調に推移し、個人消費も底堅さを維持しました。一方、中国では、輸出及びハイテク関連産業が堅調に推移したものの、個人消費の低迷が続き、景気回復は足踏み状態となりました。また、欧州では、製造業の回復に遅れがみられたものの、個人消費が景気を下支えしました。我が国の経済は、賃上げの進展やAI関連需要の拡大により設備投資が堅調に推移したものの、継続する物価上昇の影響により内需の回復には力強さを欠きました。また、ドル円の為替相場は、日米の金融政策や金利動向により変動しながらも、総じて円安基調で推移しました。

当社グループの属する電子部品業界におきましては、自動車関連市場では、電動化及び車載電子化の進展を背景として需要は底堅く推移しました。また、移動体通信関連市場につきましては、AI機能搭載機種を中心に高価格帯製品の市場投入が進んだものの、メモリー価格の上昇や買い替えサイクルの長期化などを背景に、市場全体としては低調に推移しました。

このような状況のもとで、当社グループでは、移動体通信関連向け売上高が減少したものの、アミューズメント関連向け、自動車関連向けが増加したことにより、全体での売上高は増加となりました。

利益面につきましては、売上高の増加に加え、前年同期において営業利益を押し下げた期中での急激な円高の影響が当中間連結会計期間にはなかったことから営業利益は増加しました。また、当中間連結会計期間末では為替差損が発生したものの、営業利益の増加により経常利益、親会社株主に帰属する中間純利益は前年同期を上回りました。

これらの結果、当中間連結会計期間の連結売上高は269,716百万円(前年同期比9.9%増)、営業利益は9,226百万円(前年同期比13.9%増)、経常利益は為替相場変動に伴う為替差損266百万円を計上し、9,683百万円(前年同期比1.0%増)、親会社株主に帰属する中間純利益は6,590百万円(前年同期比7.9%増)となりました。

報告セグメントの売上高及びセグメント利益又は損失の状況は、次のとおりであります。

機構部品の売上高につきましては、移動体通信関連向けは減少しましたが、アミューズメント関連向けの増加に加え、自動車関連向けが増加したことにより、売上高は252,909百万円(前年同期比11.2%増)、セグメント利益は8,768百万円(前年同期比36.5%増)となりました。

音響部品の売上高につきましては、自動車関連向けが増加したことにより、売上高は10,336百万円(前年同期比0.7%増)となったものの、比較的利益率の良いAV機器関連向け売上高の減少により、セグメント利益は613百万円(前年同期比43.4%減)となりました。

複合部品その他の売上高につきましては、アミューズメント関連向け及び健康機器関連向けが減少したことにより、売上高は6,470百万円(前年同期比16.6%減)、セグメント損失は155百万円(前年同期は591百万円のセグメント利益)となりました。

（２）当中間期の財政状態の概況

(資産・負債及び純資産の状況)

当中間連結会計期間末の総資産は、現金及び預金が減少したものの、棚卸資産、売上債権の増加等により前連結会計年度末比17,275百万円増の232,557百万円となりました。また、負債につきましては、未払法人税等が減少したものの、仕入債務の増加等により前連結会計年度末比9,773百万円増の74,811百万円となりました。

なお、純資産は、利益剰余金及びその他有価証券評価差額金、為替換算調整勘定の増加等により前連結会計年度末比7,501百万円増の157,745百万円となり、自己資本比率は67.8%となりました。

(キャッシュ・フローの状況)

当中間連結会計期間末における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は、前連結会計年度末に比べ26,987百万円減少(前年同期は216百万円の減少)し、39,062百万円となりました。

当中間連結会計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動による資金は、22,233百万円の減少(前年同期は5,594百万円の増加)となりました。これは主に、税金等調整前中間純利益9,760百万円(前年同期は税金等調整前中間純利益8,814百万円)、減価償却費2,167百万円(前年同期は2,199百万円)、売上債権の増加38,786百万円(前年同期は28,015百万円の増加)、棚卸資産の増加1,639百万円(前年同期は13,450百万円の減少)、仕入債務の増加13,000百万円(前年同期は10,629百万円の増加)、法人税等の支払6,098百万円(前年同期は1,615百万円)によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動による資金は、2,222百万円の減少(前年同期は1,981百万円の減少)となりました。これは主に、定期預金の預入による支出12,156百万円(前年同期は11,538百万円)、定期預金の払戻による収入11,988百万円(前年同期は9,228百万円)、有形固定資産の取得による支出2,769百万円(前年同期は3,023百万円)によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動による資金は、3,641百万円の減少(前年同期は3,124百万円の減少)となりました。これは主に、配当金の支払3,593百万円(前年同期は2,035百万円)によるものであります。

（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2027年３月期通期の業績予想につきましては、2026年５月８日公表のとおりであり、変更はありません。

前提とする為替レートにつきましては、従来どおり1米ドル155円を前提としております。

２．中間連結財務諸表及び主な注記

（１）中間連結貸借対照表

（単位：百万円）

	前連結会計年度 (2026年３月31日)	当中間連結会計期間 (2026年９月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	77,685	51,859
売掛金	25,813	64,707
電子記録債権	1,022	1,016
有価証券	697	－
商品及び製品	7,676	9,532
仕掛品	4,478	4,729
原材料及び貯蔵品	57,628	57,452
その他	6,638	4,779
貸倒引当金	△176	△173
流動資産合計	181,466	193,904
固定資産		
有形固定資産	21,516	23,103
無形固定資産	699	711
投資その他の資産		
投資有価証券	8,079	11,287
退職給付に係る資産	2,148	2,275
その他	1,638	1,542
貸倒引当金	△267	△267
投資その他の資産合計	11,599	14,837
固定資産合計	33,815	38,653
資産合計	215,281	232,557

（単位：百万円）

	前連結会計年度 (2026年３月31日)	当中間連結会計期間 (2026年９月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	33,338	47,427
電子記録債務	1,252	480
未払法人税等	6,322	2,790
関係会社整理損失引当金	766	－
その他	7,245	6,350
流動負債合計	48,924	57,048
固定負債		
新株予約権付社債	10,161	10,147
退職給付に係る負債	2,278	2,296
その他	3,672	5,319
固定負債合計	16,113	17,763
負債合計	65,038	74,811
純資産の部		
株主資本		
資本金	13,660	13,660
資本剰余金	19,596	19,603
利益剰余金	122,641	125,638
自己株式	△14,063	△14,056
株主資本合計	141,835	144,846
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	4,758	6,945
為替換算調整勘定	2,560	5,051
退職給付に係る調整累計額	1,089	901
その他の包括利益累計額合計	8,408	12,899
純資産合計	150,243	157,745
負債純資産合計	215,281	232,557

（２）中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書

（中間連結損益計算書）

（単位：百万円）

	前中間連結会計期間 （自　2025年４月１日 至　2025年９月30日）	当中間連結会計期間 （自　2026年４月１日 至　2026年９月30日）
売上高	245,426	269,716
売上原価	232,552	255,305
売上総利益	12,874	14,410
販売費及び一般管理費	4,775	5,184
営業利益	8,098	9,226
営業外収益		
受取利息	412	568
受取配当金	98	118
為替差益	929	－
その他	77	71
営業外収益合計	1,517	758
営業外費用		
支払利息	20	28
為替差損	－	266
その他	7	5
営業外費用合計	28	300
経常利益	9,588	9,683
特別利益		
固定資産売却益	5	129
投資有価証券売却益	－	46
特別利益合計	5	176
特別損失		
固定資産除売却損	9	3
投資有価証券評価損	－	95
関係会社整理損失引当金繰入額	768	－
特別損失合計	778	99
税金等調整前中間純利益	8,814	9,760
法人税、住民税及び事業税	2,658	2,513
法人税等調整額	47	657
法人税等合計	2,706	3,170
中間純利益	6,108	6,590
非支配株主に帰属する中間純利益	－	－
親会社株主に帰属する中間純利益	6,108	6,590

（中間連結包括利益計算書）

（単位：百万円）

	前中間連結会計期間 （自　2025年４月１日 至　2025年９月30日）	当中間連結会計期間 （自　2026年４月１日 至　2026年９月30日）
中間純利益	6,108	6,590
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	597	2,187
為替換算調整勘定	△1,999	2,491
退職給付に係る調整額	△161	△187
その他の包括利益合計	△1,563	4,490
中間包括利益	4,545	11,081
（内訳）		
親会社株主に係る中間包括利益	4,545	11,081
非支配株主に係る中間包括利益	－	－

（３）中間連結キャッシュ・フロー計算書

（単位：百万円）

	前中間連結会計期間 （自　2025年４月１日 至　2025年９月30日）	当中間連結会計期間 （自　2026年４月１日 至　2026年９月30日）
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前中間純利益	8,814	9,760
減価償却費	2,199	2,167
関係会社整理損失引当金の増減額（△は減少）	768	△766
売上債権の増減額（△は増加）	△28,015	△38,786
棚卸資産の増減額（△は増加）	13,450	△1,639
営業未収入金の増減額（△は増加）	436	709
仕入債務の増減額（△は減少）	10,629	13,000
その他	△1,562	△1,264
小計	6,722	△16,817
利息及び配当金の受取額	506	707
利息の支払額	△19	△24
法人税等の支払額	△1,615	△6,098
営業活動によるキャッシュ・フロー	5,594	△22,233
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△11,538	△12,156
定期預金の払戻による収入	9,228	11,988
長期性預金の払戻による収入	3,500	－
有形固定資産の取得による支出	△3,023	△2,769
投資有価証券の取得による支出	－	△118
投資有価証券の償還による収入	－	700
その他	△148	134
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,981	△2,222
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額（△は減少）	△1,050	－
自己株式の取得による支出	△0	△1
配当金の支払額	△2,035	△3,593
その他	△38	△46
財務活動によるキャッシュ・フロー	△3,124	△3,641
現金及び現金同等物に係る換算差額	△705	1,110
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	△216	△26,987
現金及び現金同等物の期首残高	46,769	66,050
現金及び現金同等物の中間期末残高	46,552	39,062

（４）中間連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

Ⅰ　前中間連結会計期間(自　2025年４月１日　至　2025年９月30日)

１．報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント				調整額	中間連結損益計算書計上額(注)
	機構部品	音響部品	複合部品その他	計		
売上高						
外部顧客への売上高	227,402	10,261	7,762	245,426	－	245,426
セグメント間の内部売上高又は振替高	－	－	－	－	－	－
計	227,402	10,261	7,762	245,426	－	245,426
セグメント利益	6,423	1,084	591	8,098	－	8,098

(注)　セグメント利益の合計額と中間連結損益計算書の営業利益は一致しております。

Ⅱ　当中間連結会計期間(自　2026年４月１日　至　2026年９月30日)

１．報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント				調整額	中間連結損益計算書計上額(注)
	機構部品	音響部品	複合部品その他	計		
売上高						
外部顧客への売上高	252,909	10,336	6,470	269,716	－	269,716
セグメント間の内部売上高又は振替高	－	－	－	－	－	－
計	252,909	10,336	6,470	269,716	－	269,716
セグメント利益又は損失(△)	8,768	613	△155	9,226	－	9,226

(注)　セグメント利益又は損失（△）の合計額と中間連結損益計算書の営業利益は一致しております。

(重要な後発事象)

（連結子会社の売却）

当社は、連結子会社である東莞橋頭中星電器有限公司の全持分を譲渡することを決定し、2025年12月31日付で持分譲渡契約を締結いたしました。同社は2026年３月28日をもって生産を終了し、持分譲渡に向けた手続きを進め、2026年10月10日に全持分の譲渡が完了いたしました。

なお、売却価額は25百万元（約580百万円）であり、売却益は1,536百万円を計上する見込みであります。